

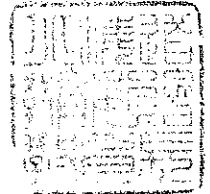


教高第550号

平成24年7月25日

北海道経済連合会
会長 近藤 龍夫 様

北海道教育委員会教育長
高橋 教一



高校生インターンシップ推進事業について（依頼）

日頃から、高校生の進路指導につきまして、御理解・御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、近年、高校生などの若年者については、働くことへの関心・意欲・態度、目的意識、責任感、意志等の未熟さやコミュニケーション能力、対人関係能力、基本的マナーなど、職業人としての基本的な能力の低下や職業意識・職業観の未熟さなどが、生徒と仕事のミスマッチや早期離職につながっている可能性があるとして指摘されており、こうしたことから、生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を図る指導の充実が求められております。

このようなことを踏まえ、道教委といたしましては、平成14年度から「高校生インターンシップ推進事業」を実施しているところであり、平成23年度は、215校の全日制の道立高等学校において、約27,700名の生徒が、延べ約8,760事業所の協力を得て、企業見学を含めたインターンシップを行っております。これもひとえに、関係機関や団体等の御理解や御支援の賜と感謝申し上げます。

インターンシップについては、生徒が職業についての理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図ることができるなど、大きな成果を上げているところであります。

今年度におきましても、すべての全日制道立高等学校においてインターンシップを実施する予定でありますので、各高等学校におけるインターンシップが地域の理解と協力を得て一層推進できますよう、貴会会員企業における受け入れについて、特段の御配慮をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

(学校教育局高校教育課産業教育指導グループ)



新規学卒者の雇用についてのお願い

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、本道における経済・雇用対策の推進につきましては、平素より格別のご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、厚生労働省北海道労働局の調査におきまして、北海道内の平成24年3月新規高等学校卒業者の就職内定率は、前年同期を3.0ポイント上回る88.0%で、過去10年間では最高水準となり、新規大学等卒業者の就職内定率は、前年同期を1.7ポイント上回る88.5%となったものの、ともに全国平均を下回っており、未就職のまま卒業した者の多くが今もなお求職活動を行っている状況にあります。

また、6月20日から平成25年3月高等学校卒業予定者の求人受理が始まりましたが、道内企業における求人の動向は先行き不透明な状況にあります。

しかしながら、若年労働者の確保と育成は、道内企業の将来にわたる競争力の維持・強化はもとより、今後の北海道経済の発展と安定を図るため、極めて重要な課題でありますので、若者がいきいきと活躍できる場を、関係者が一丸となって確保することが不可欠であります。

このようなことから、北海道、北海道教育委員会、北海道労働局、北海道経済産業局をはじめ関係行政機関といたしましても相互の緊密な連携のもと、新規学卒者が将来への希望を胸に正社員として就職できるよう、全力を挙げて就職支援の取組を進めているところであります。

貴会には、従来、深いご理解と積極的なご協力をいただいているなかでの更なるお願いで誠に恐縮ではございますが、来春の新規学卒予定者、特に高校卒業予定者に対する求人枠の確保と、今春未就職のまま卒業した者に対する就職機会の拡大について、貴会会員企業の皆様方のご理解とご協力をいただきますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

謹言

平成24年7月25日

北海道経済連合会

会長 近藤 龍夫 様

北海道知事 高橋 はるみ

北海道教育委員会教育長 高橋 教一

北海道労働局長 高原 和子

北海道経済産業局長 増山 壽一